

国道249号沿岸部 啓開状況・大規模崩落箇所（5区間）の応急復旧計画

① 中屋トンネル工区



体制: 安藤ハザマ+NCE+日本工営
 内容: 県道、市道を迂回路として活用。その後、中屋トンネルを活用し2車線通行確保

- ・県道、市道による迂回路を活用し、令和6年12月25日(水)13時 緊急車両等の1車線通行確保済
- ・令和7年夏頃に中屋トンネルを活用した一般交通の2車線通行確保予定

② 千枚田工区



体制: 清水建設+日本工営
 内容: 盛土で海側(隆起部)に迂回

- ・5/2 12時~ 緊急車両、地域住民のみ通行可
- ・令和6年12月20日(金)13時 一般交通の2車線通行確保済

【凡例】

- : 緊急復旧(啓開)済
- : 通行不能区間
- : 緊急車両等のみ通行可
- : 孤立集落となった地域 (R249沿線)
- : 主要観光地



権限代行区間 L=52.9km



③ 大川浜工区



体制: 大林組+日本工営
 内容: 盛土で海側(隆起部)に迂回

- ・令和6年12月5日(木)13時 緊急車両等の1車線通行確保済

④ 逢坂トンネル工区



体制: (輪島側)熊谷組
 + パシフィックコンサルタンツ
 (珠洲側)前田建設工業
 + パシフィックコンサルタンツ

内容: 迂回路(工事用道路)設置
 本復旧は、地滑り調査中で、現道活用案と別線案を検討予定

- ・令和6年12月27日(金)13時 緊急車両等の1車線通行確保済

⑤ 大谷工区



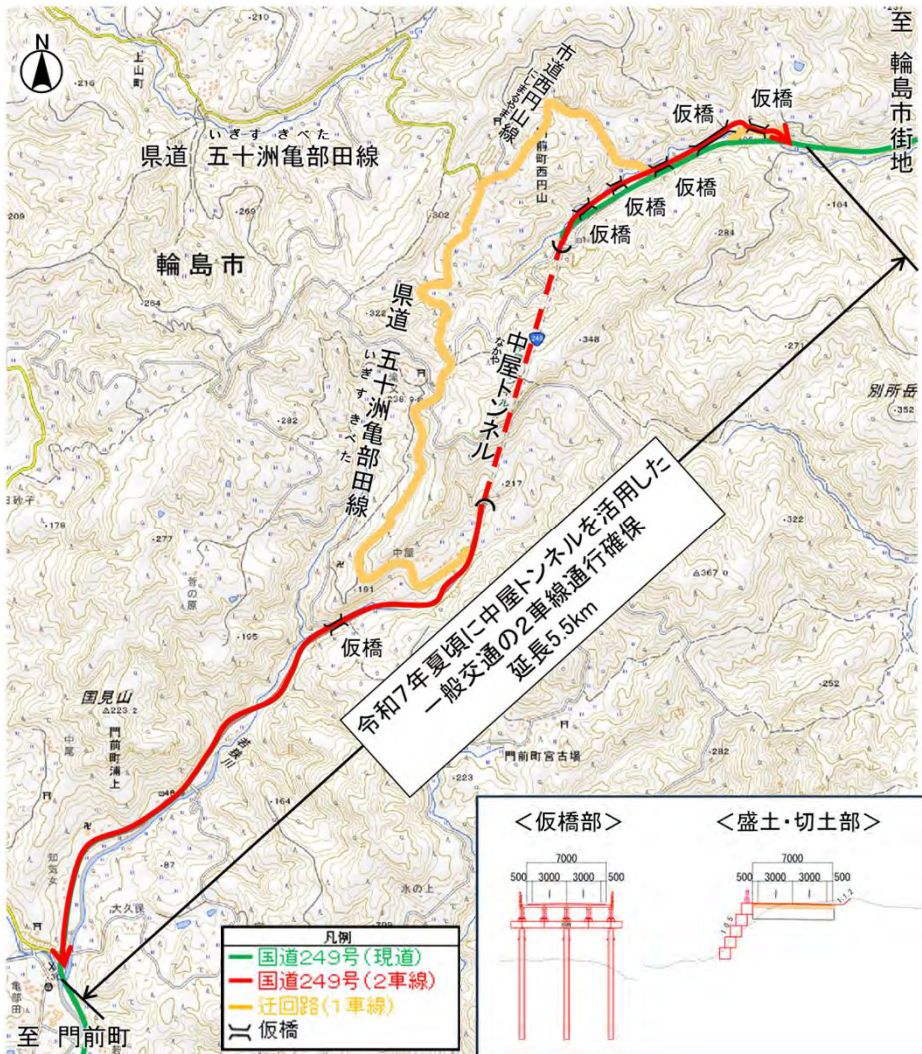
体制: 前田建設工業(今後調整)
 + 大日本ダイヤコンサル
 内容: 県道及び市道などで、迂回路を整備
 本復旧は、地滑り調査中で現道活用案と別線案を検討中

- 市道: 舗装など完了(詳細別紙)
- 県道: 年度内を目標に拡幅予定
- 地滑り調査結果を踏まえ、本復旧

①中屋TN工区(通行止め延長:5.5km)

- 9月20日からの豪雨災害により、地震による被災箇所が増破が9箇所、新規被災が13箇所確認された。
- 県道、市道による迂回路を活用し、令和6年12月25日(水)13時 緊急車両等の1車線通行確保済。
- 令和7年夏頃に中屋トンネルを活用した一般交通の2車線通行確保予定。
- 本復旧については、詳細な地質調査及びモニタリング計測を行い、地山の安定性を確認した上で、復旧計画を策定予定。

中屋トンネルを活用した2車線通行確保



令和6年12月25日(水)1車線通行確保



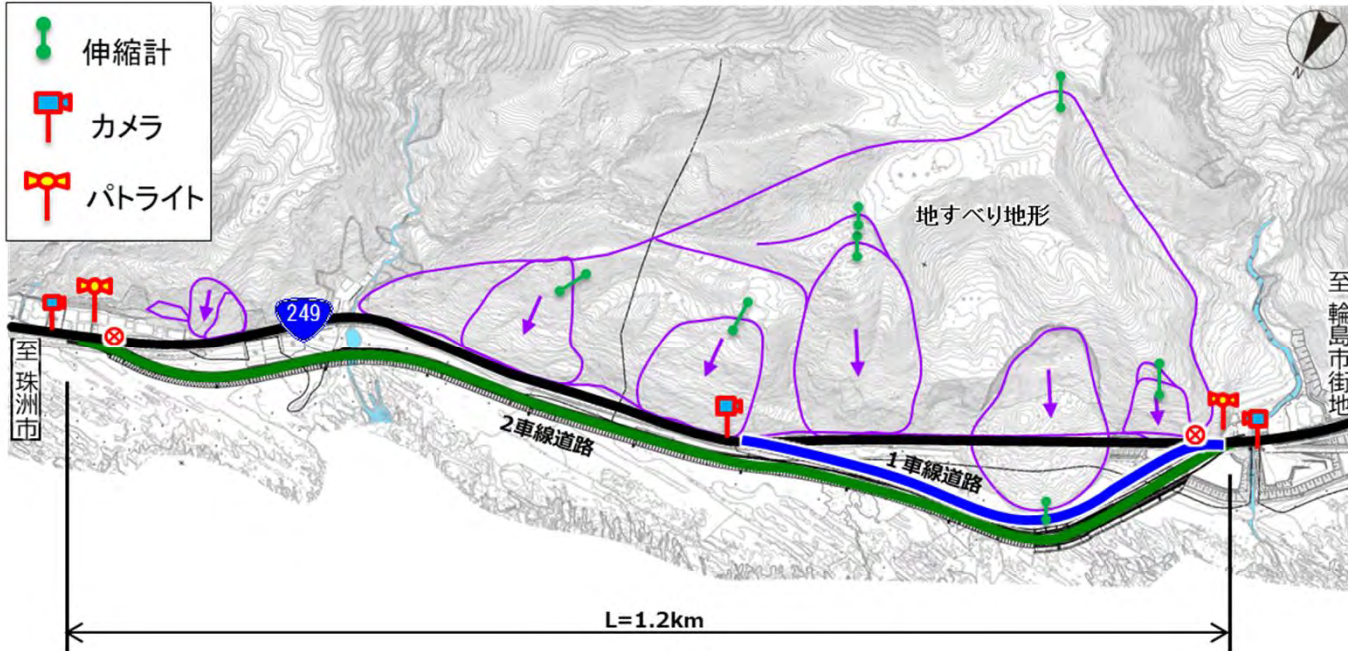
2車線通行確保に向けた施工状況



②千枚田工区 (通行止め延長:0.8km)

- 令和6年5月2日(木)に隆起した海岸部を活用した道路で交通開放し緊急車両、地元車両のみ通行を確保。
- 不安定土砂が残ることから、伸縮計等による監視を継続、大雨や地震、高潮などの管理基準を設け、監視・管理体制を確保。
- 9月20日からの豪雨災害により、地震による被災箇所を増破1箇所、新規被災が4箇所確認された。
- 令和6年12月20日(金)13時 一般交通の2車線通行確保済。
- 本復旧については、現道復旧や別線などのルート検討を進め、復旧計画を策定予定。

仮設道路平面図・地すべり監視機器設置位置図



豪雨災害後被災状況



令和6年12月20日(金)2車線通行確保



③大川浜工区 (通行止め延長:2.8km)

- R6年内の1車線通行確保に向けて、隆起した海岸を活用した工事用道路の整備をR6. 6月上旬から着手。
- 9月20日からの豪雨災害により、地震による被災箇所を増破7箇所、新規被災が5箇所確認された。
- 令和6年12月5日(木) 13時 緊急車両等の1車線通行確保済。
- 本復旧については、現道復旧や別線などのルート検討を進め、復旧計画を策定予定。

工事用道路平面図

工事用道路豪雨災害後状況写真



令和6年12月5日(水)1車線通行確保後の状況

無人化施工実施状況



④逢坂TN付近(通行止め延長:1.7km)

- R6年内の1車線通行確保に向けて、隆起した海岸や崩土上を活用した工事用道路の整備をR6. 6月上旬から着手。
- 9月20日からの豪雨災害により、地震による被災箇所を増破5箇所、新規被災が4箇所確認された。
- 令和6年12月27日(金)13時 緊急車両等の1車線通行確保。
- 本復旧については、現道復旧や別線などのルート検討を進め、復旧計画を策定予定。

復旧工事状況

令和6年12月27日(金)1車線通行確保

12/10撮影



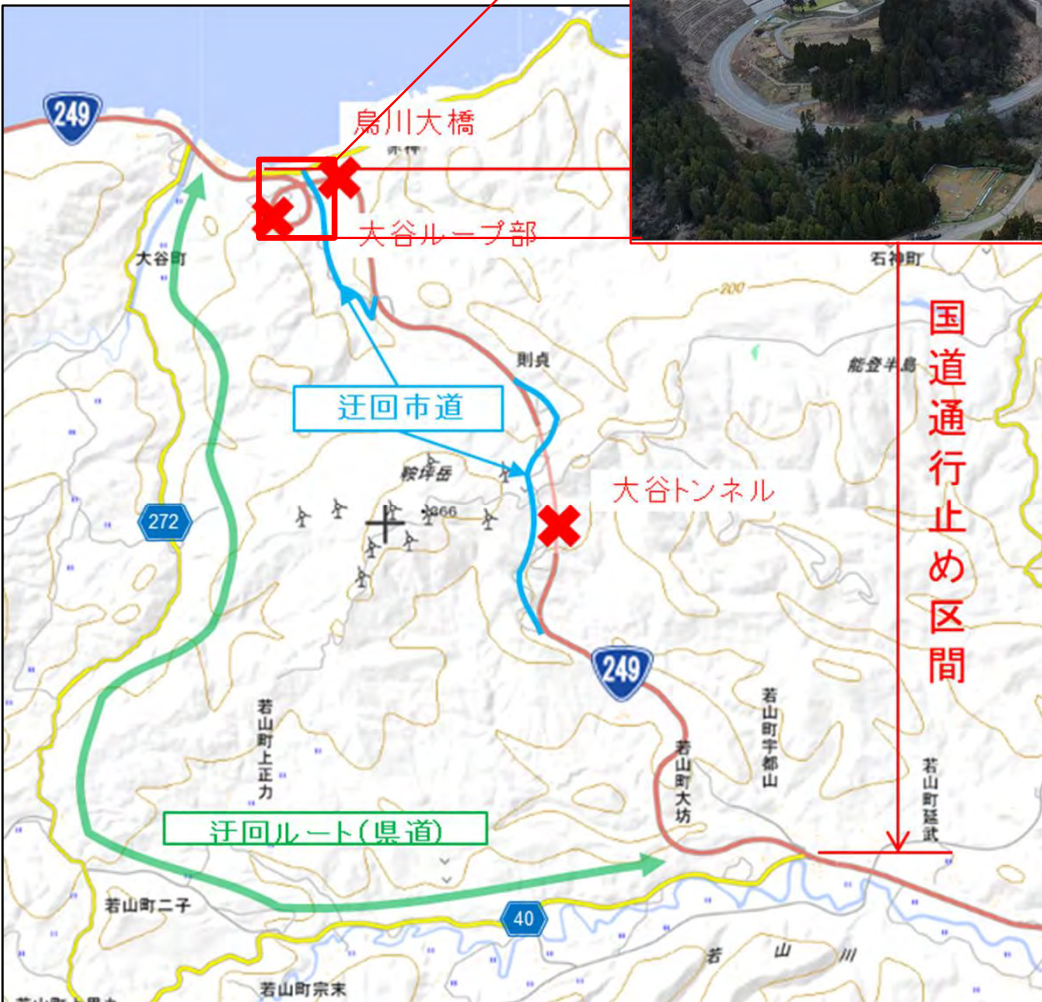
12/10撮影



⑤大谷工区 (通行止め延長: 7.4km)

- 通行止めの大谷トンネルは、現位置において地すべり等の大規模な変位を生じるリスクがあり、梅雨や台風、融雪季を迎える春頃まで詳細な調査や動態観測を実施。当面の間、周辺の県道・市道を迂回路として利用。
- 9月20日からの豪雨災害により、地震による被災箇所を増破7箇所、新規被災が5箇所確認された。
- 本復旧については、詳細な地質調査及び融雪期モニタリング計測を行い、地山の安定性を確認した上で現道復旧や別線などのルート検討を進め、復旧計画を策定予定。

迂回イメージ図



大谷川右岸舗装完了状況(R6. 11)



豪雨後被災状況(R6. 9)



覆工Co、支保工の被災調査状況



覆工Co撤去前



覆工Co撤去後

人を呼び込む絶景海道の復興へ



○国道249号や県道などの能登半島沿岸部を通る道路について、周遊観光の促進・「道の駅」の集客強化・サイクルツーリズムの活性化・魅力ある風景街道の創出などにより、人を呼び込む絶景海道を目指します。

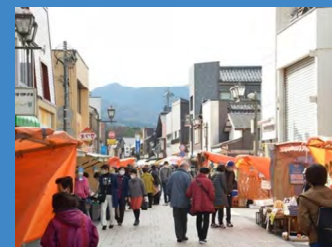
○有識者や国・県・市町からなる「能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会」を2月3日に設置し、復興に向けた議論をスタート。



能登半島絶景海道想定エリア図

1 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

能登の絶景、豊かな自然の恵み、守り伝えられてきた祭礼・伝統技術など、魅力たっぷりの能登。インバウンドを見据えた多言語対応を進めるなど、周遊観光の促進を目指します。



輪島朝市の賑わいの復活

2 人が集まる「道の駅」へ

いまや旅の目的地から地域づくりの拠点へと進化する「道の駅」。観光拠点としての環境整備や地域の特産品の販売など、人の集う賑わいの場をつくります。



地域の個性を活かした環境整備

3 能登を自転車でライド！

「能登の里山里海を自転車で走るのは楽しい！」能登の魅力を体感できることを国内のみならず海外へ発信し、サイクルツーリズムを盛り上げます。



「ツール・ド・のと」の盛大な開催

4 風景街道が“おもてなし”

奥能登の旅から人と風景をつなぐ風景街道。魅力あるいしかわの風景や震災遺構を活用した観光イベントの実施や美化活動など地域住民が参加するみちづくりを進めます。



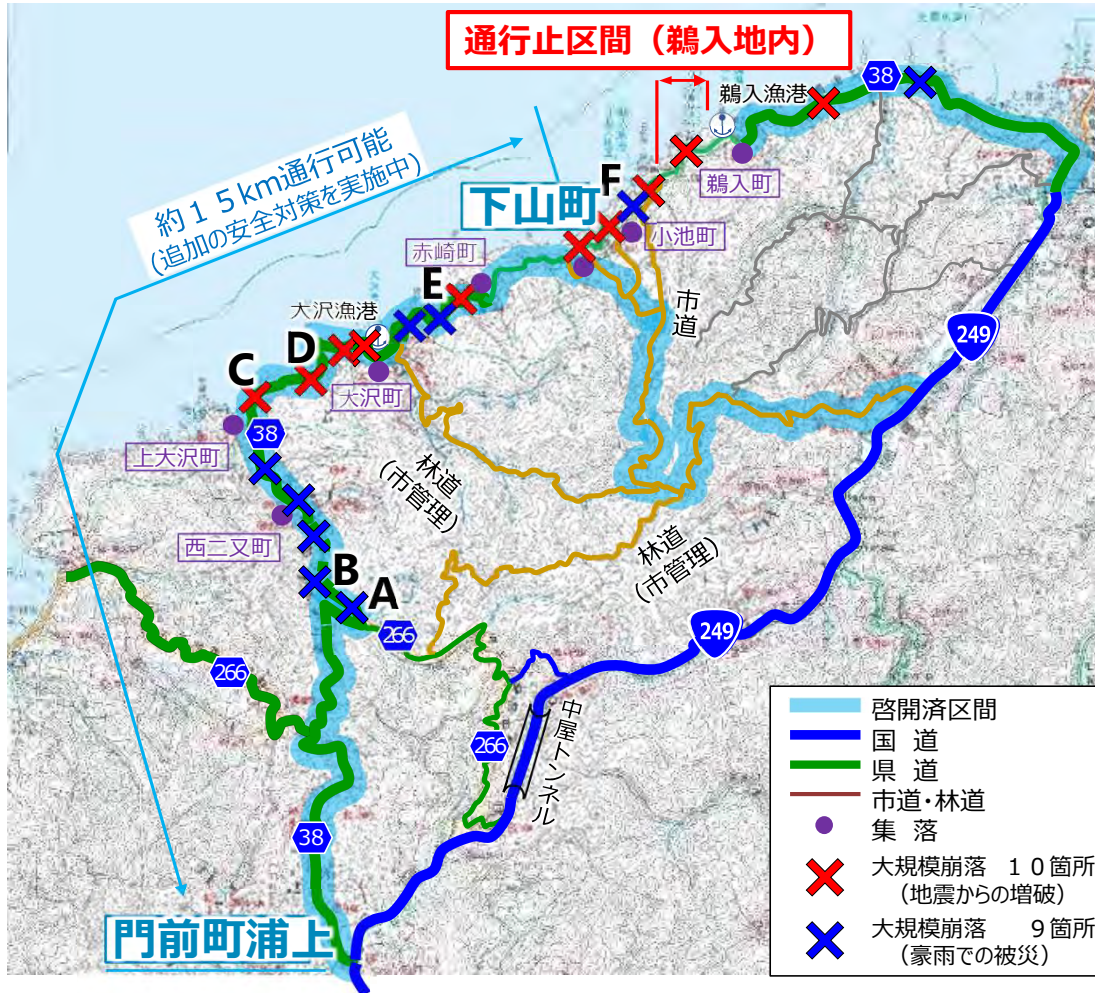
奥能登絶景海道の企画

主要地方道 輪島浦上線の啓開状況



資料 2

門前町浦上から大沢町、下山町までの区間について、
令和6年12月25日から、地域の方々や緊急車両に限り通行可能
(一般供用に向け、斜面の保護や大型土のうの設置など、追加の安全対策を実施中)



道路啓開の状況 (県道 輪島浦上線)



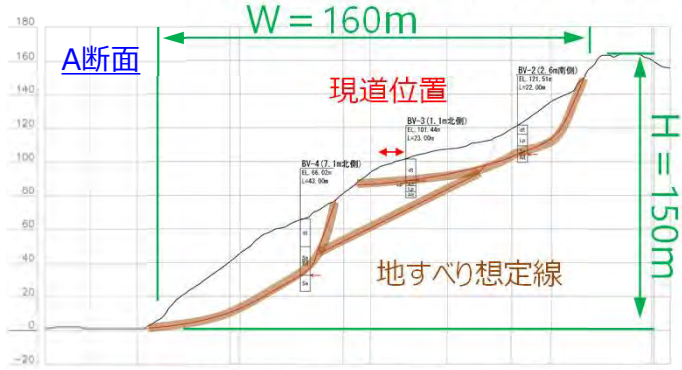
主要地方道 輪島浦上線 鶉入地内 (被災概要)



【被災規模】

・崩壊範囲

延長 L=160m、幅 W=160m、高さ H=150m



【凡 例】
 ピンク時：地震後 赤字：豪雨後

①地山の押し出し
 ・斜面崩壊

②道路の崩落

③地震による
 大規模崩落箇所

④斜面崩壊
 ・道路擁壁の損傷

⑤斜面崩壊

⑥斜面崩壊

⑦八丁坂橋の損傷



豪雨後、新たに
 斜面崩壊の拡大



豪雨後、新たに地山の押し出し・斜面崩壊



➡ 大規模崩落箇所の前後も
 複数箇所において崩壊が発生

➡ 大規模崩落(地すべり)
 により、啓開困難

○現道の復旧概要

・現道復旧の課題・・・

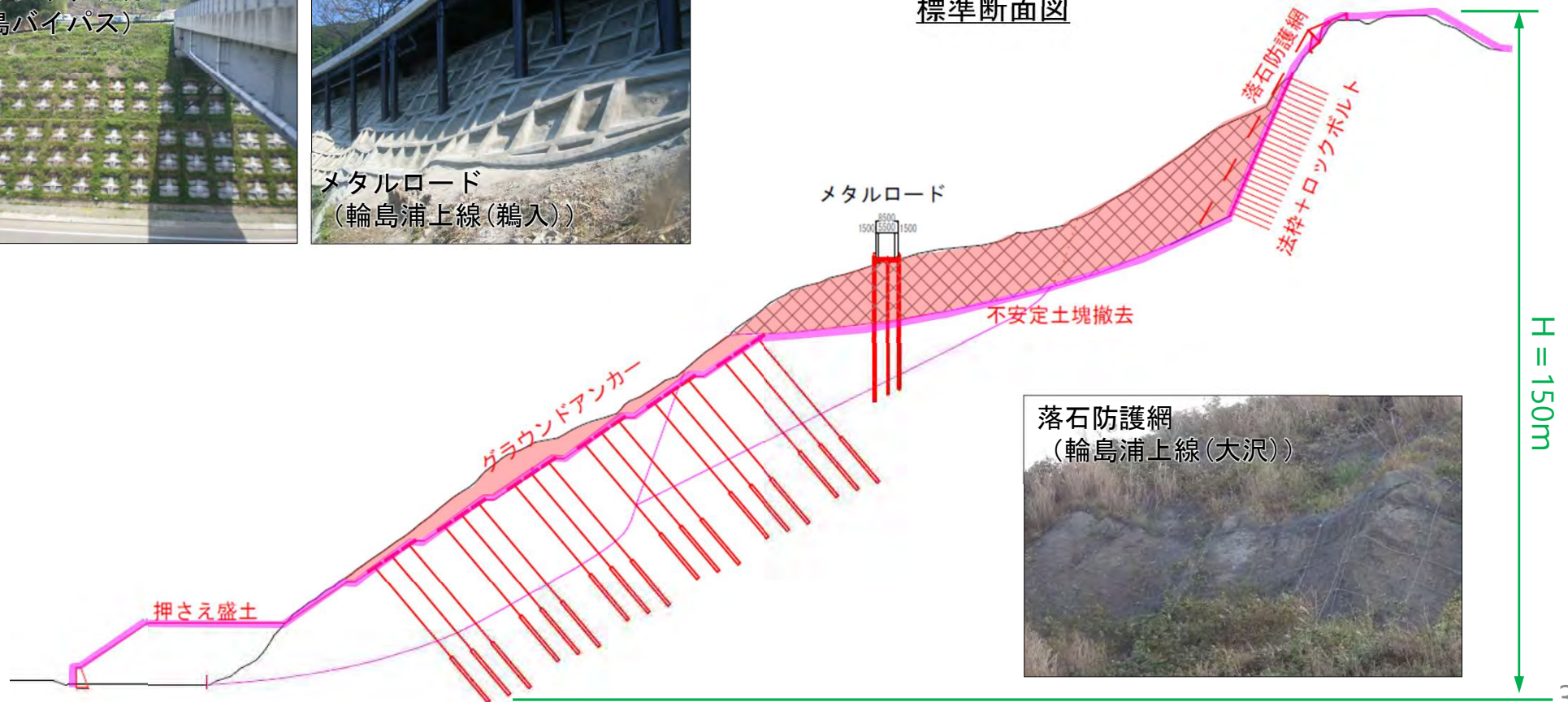
- ①高低差 150mの急峻な地形において、崩壊した大量の土砂の撤去
- ②長大な斜面を有する大規模な地滑り対策が必要 (不安定土塊の撤去、グラウンドアンカー等)
- ③奥能登豪雨により崩落が拡大し、前後区間においても斜面の押し出しや亀裂などが見受けられるため、複数箇所での復旧が必要

▶大規模な地すべり対策は、厳しい作業環境の中、危険を伴い施工効率も悪いことから、復旧には長時間を要する

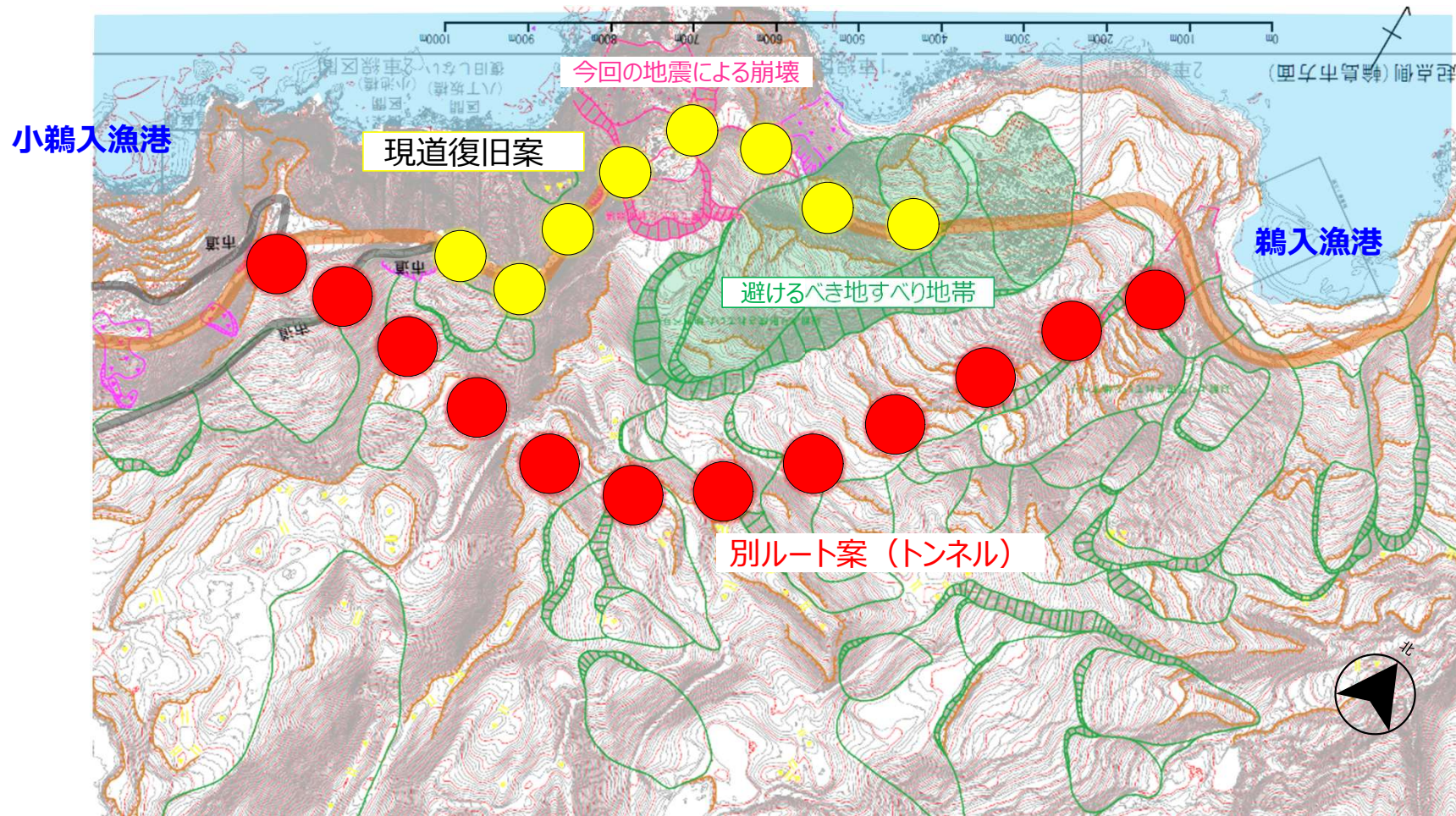
▶大規模崩落箇所の前後区間を含む複数箇所の復旧による、コスト大

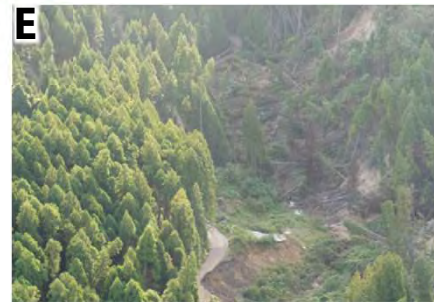
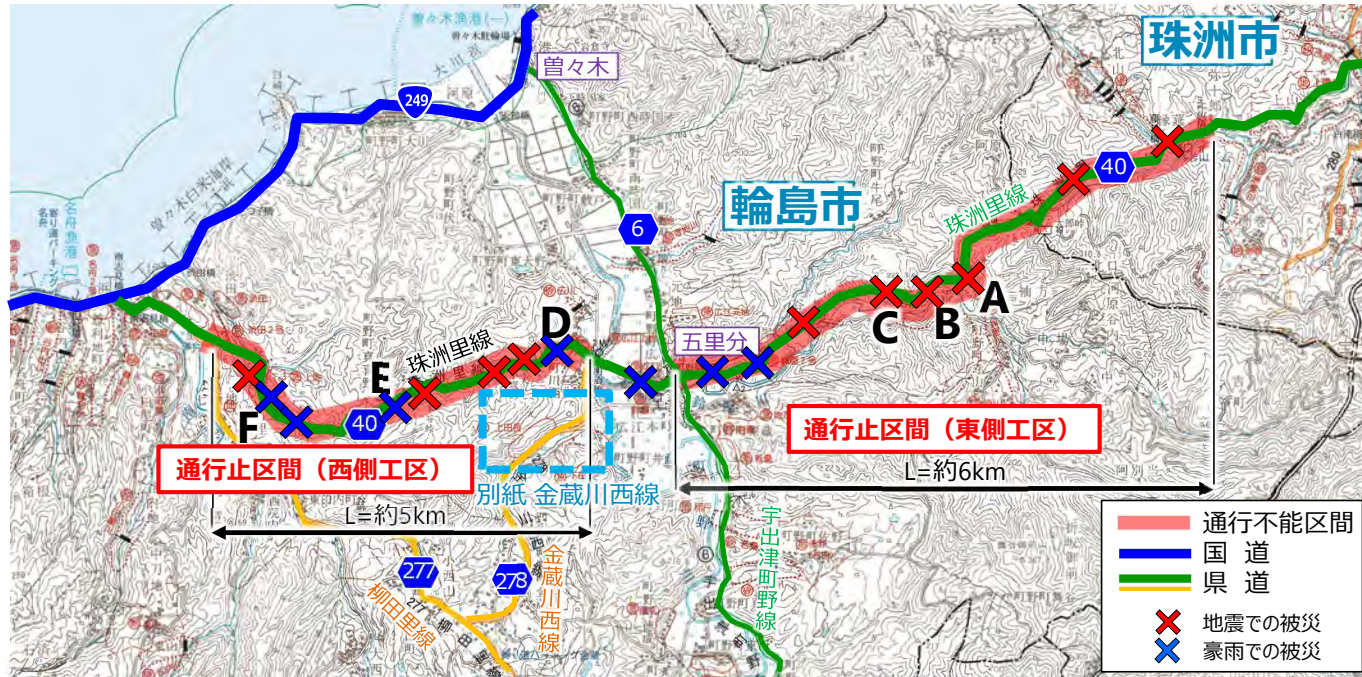


標準断面図

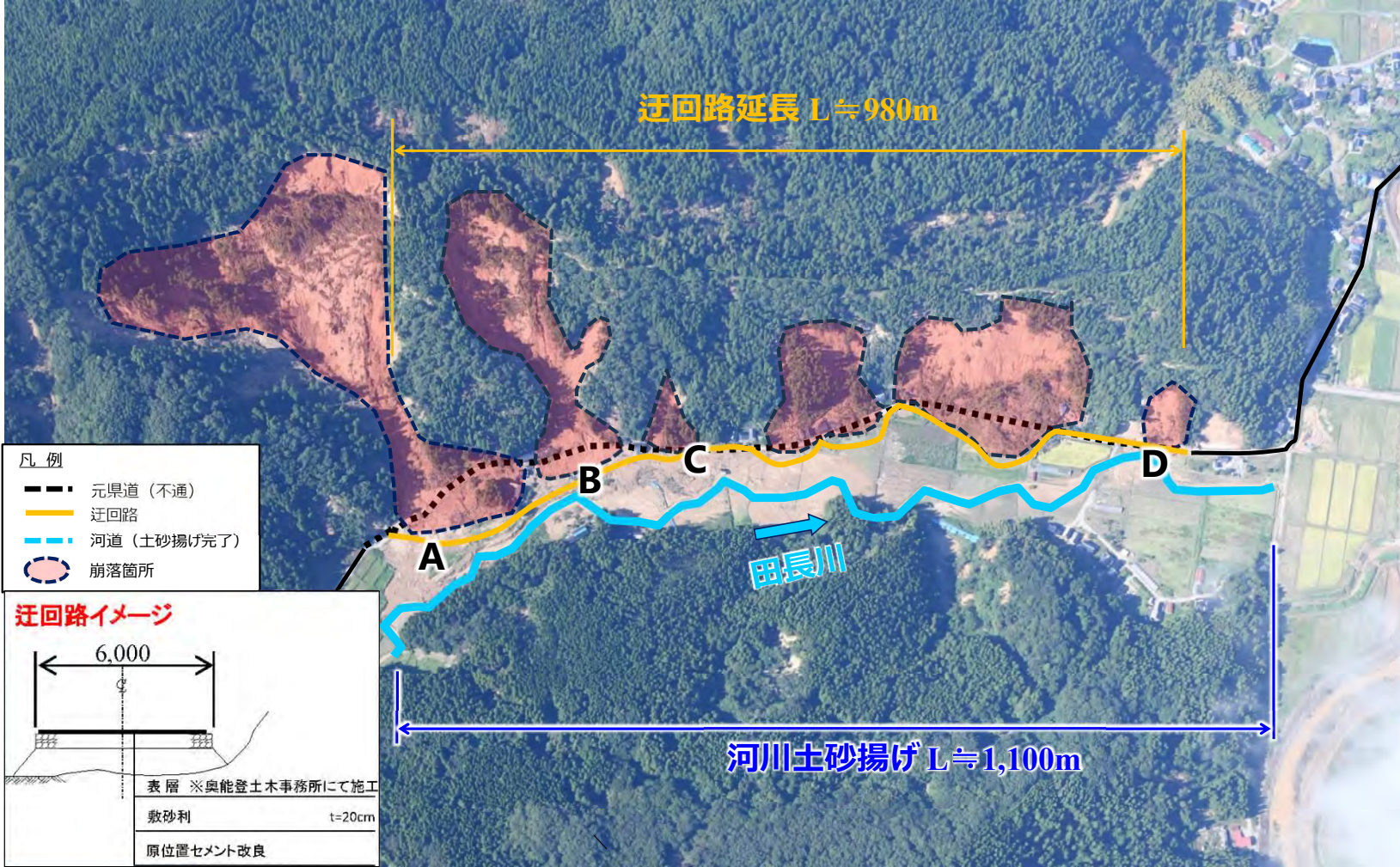


- ・現道復旧案・・・地すべり対策や大量の崩落土砂の撤去、急峻な地形上での施工
 - ▶長期にわたる復旧工事、コスト大
 - ▶復旧後の道路勾配 約 10%
- ・別ルート案 (トンネル)・・・強靱なトンネル構造、ルート選定で地すべりの影響を最小化
 - ▶現道復旧案と比較して短期間の復旧工事、コスト小
 - ▶復旧後の道路勾配 約 6%



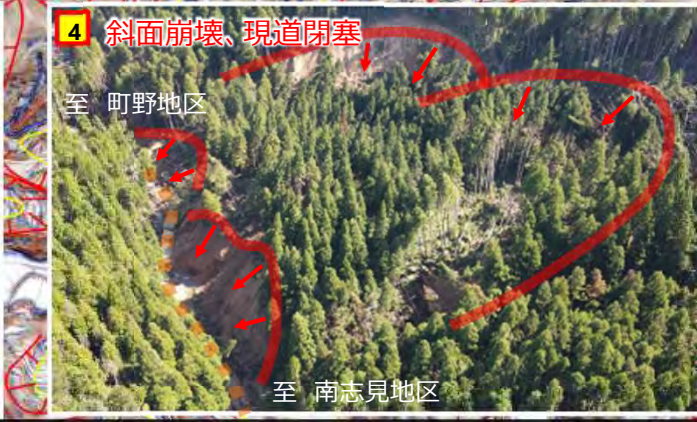


川側に迂回路をつくり、令和7年1月23日から、地域の方々や緊急車両に限り通行可能



○西側工区 被災状況 ((主)珠洲里線)

- 西側被災箇所(対策工法案)
- ▨ A(抑止杭工+アンカー工併用)
 - ▨ B(抑止杭工)
 - ▨ C(アンカー工)
 - ▨ D(鉄筋挿入工)
 - ▨ E(擁壁工)
 - ▨ F(橋梁)
 - 県道40号
 - 滑落崖と側方崖
 - 移動体の輪郭・境界
- 至 南志見地区

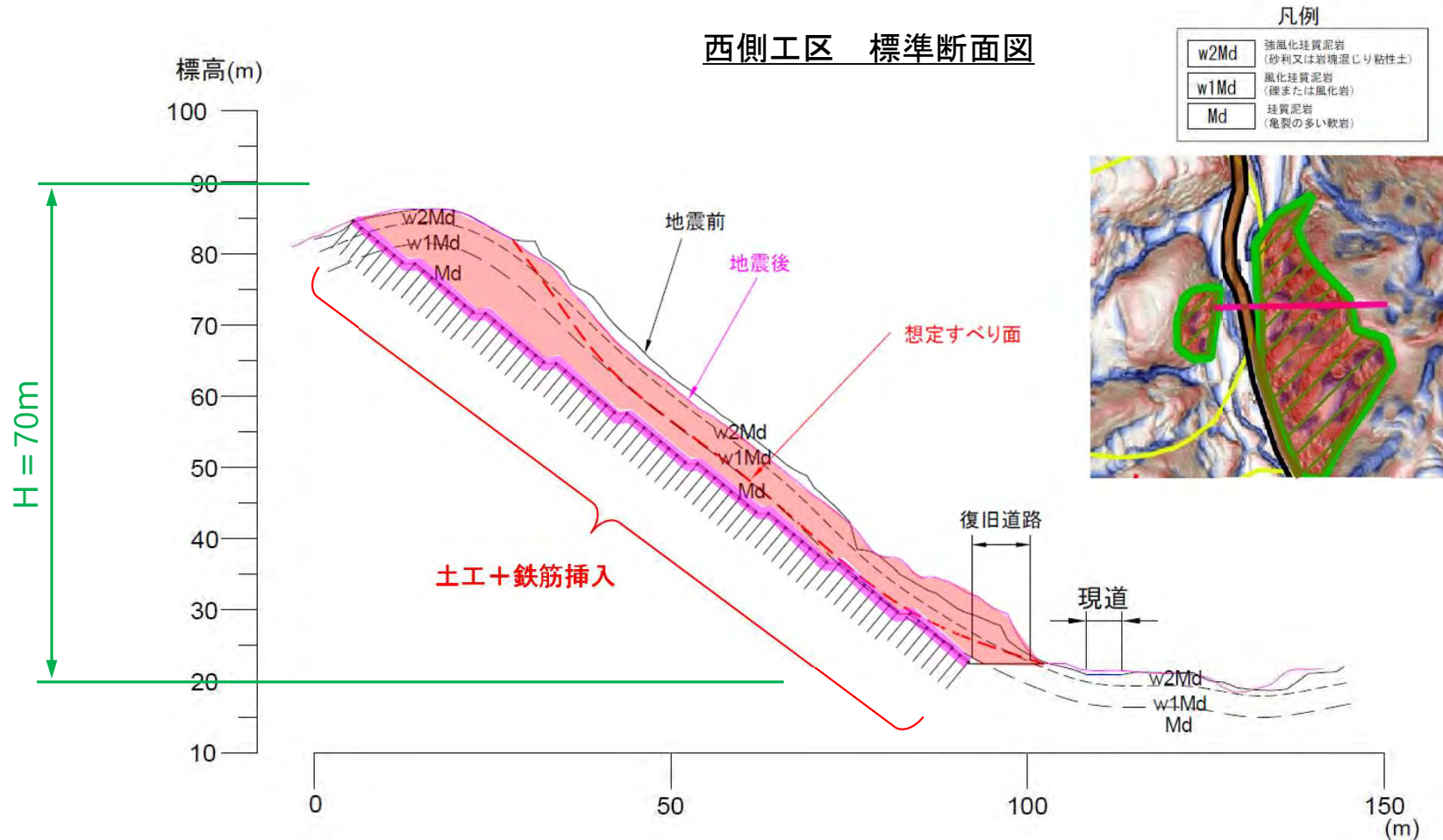


○西側工区 現道の復旧概要 ((主)珠洲里線)

現道復旧の課題……

- ①奥能登豪雨により、土石流や斜面崩壊が多数発生し被害が拡大(中小規模の崩壊を含めて全線5kmにわたり無数の被害)
- ②大量の土砂撤去、長大な斜面を有する大規模な地すべり対策(不安定土塊の撤去、グラウンドアンカー、抑止杭など)
- ③アクセス路が限られ、且つ冬季の施工困難

- アクセス路や施工時期が限られることから、復旧に長時間を要する
- 地すべり対策の規模が大きく、復旧箇所も多数あるため、コスト大



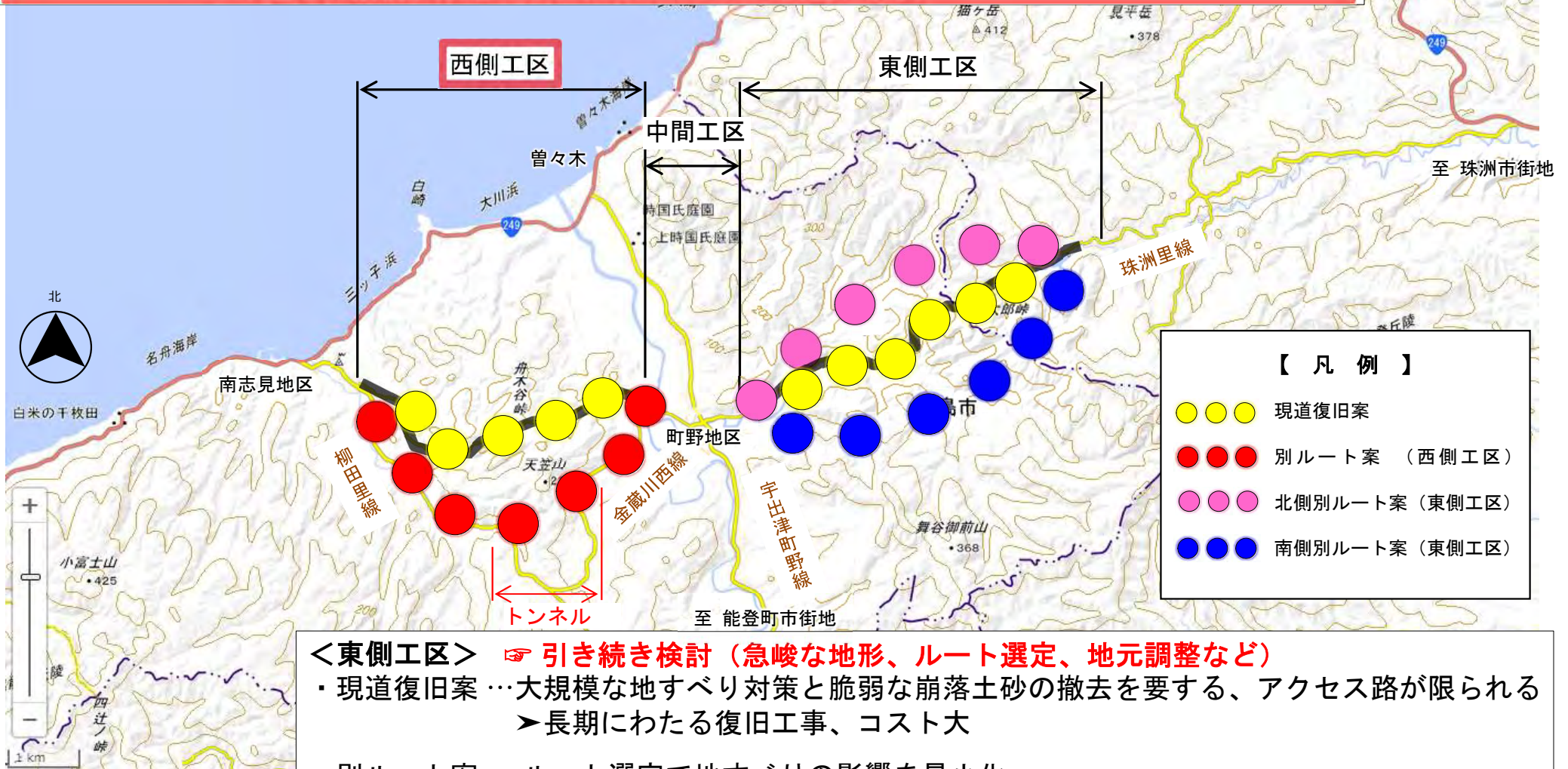
主要地方道 珠洲里線（復旧ルート案）



<西側工区>

- ・ 現道復旧案…大規模な地すべり対策と脆弱な崩落土砂の撤去を要する、アクセス路が限られる
 - 長期にわたる復旧工事、コスト大

- ・ 別ルート案…金蔵川西線と柳田里線を活用し、珠洲里線の代替機能を持たせる案（一部トンネル構造）
 - 現道復旧案と比較して短期間、コスト小
 - 市道との接続、集落へのアクセスについて調整が必要



<東側工区>

👉 **引き続き検討（急峻な地形、ルート選定、地元調整など）**

- ・ 現道復旧案…大規模な地すべり対策と脆弱な崩落土砂の撤去を要する、アクセス路が限られる
 - 長期にわたる復旧工事、コスト大
- ・ 別ルート案…ルート選定で地すべりの影響を最小化（北側・南側）
 - 現道復旧案と比較して短期間、コスト小
 - 市道との接続、集落へのアクセスについて調整

主要地方道 珠洲里線(中間工区)



○県道珠洲里線・金蔵川西線の道路復旧と町野川・鈴屋川の河川復旧（直轄権限代行）との調整

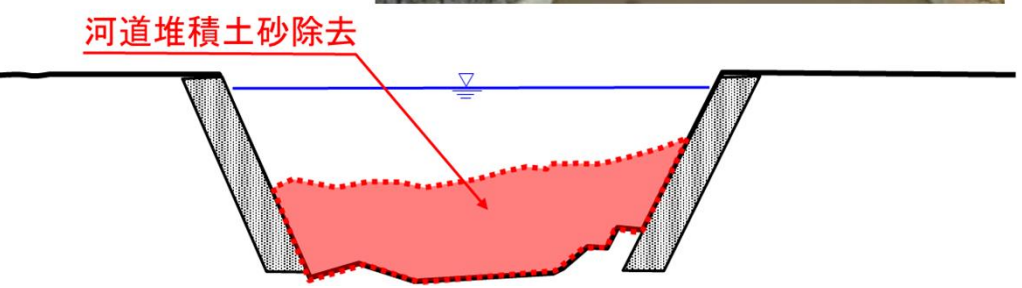
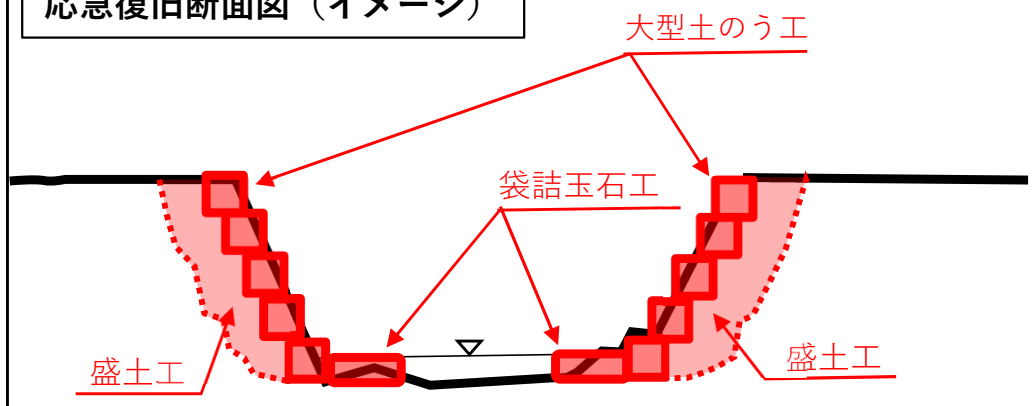


被災状況

- 河道への土砂堆積
- 護岸の損壊

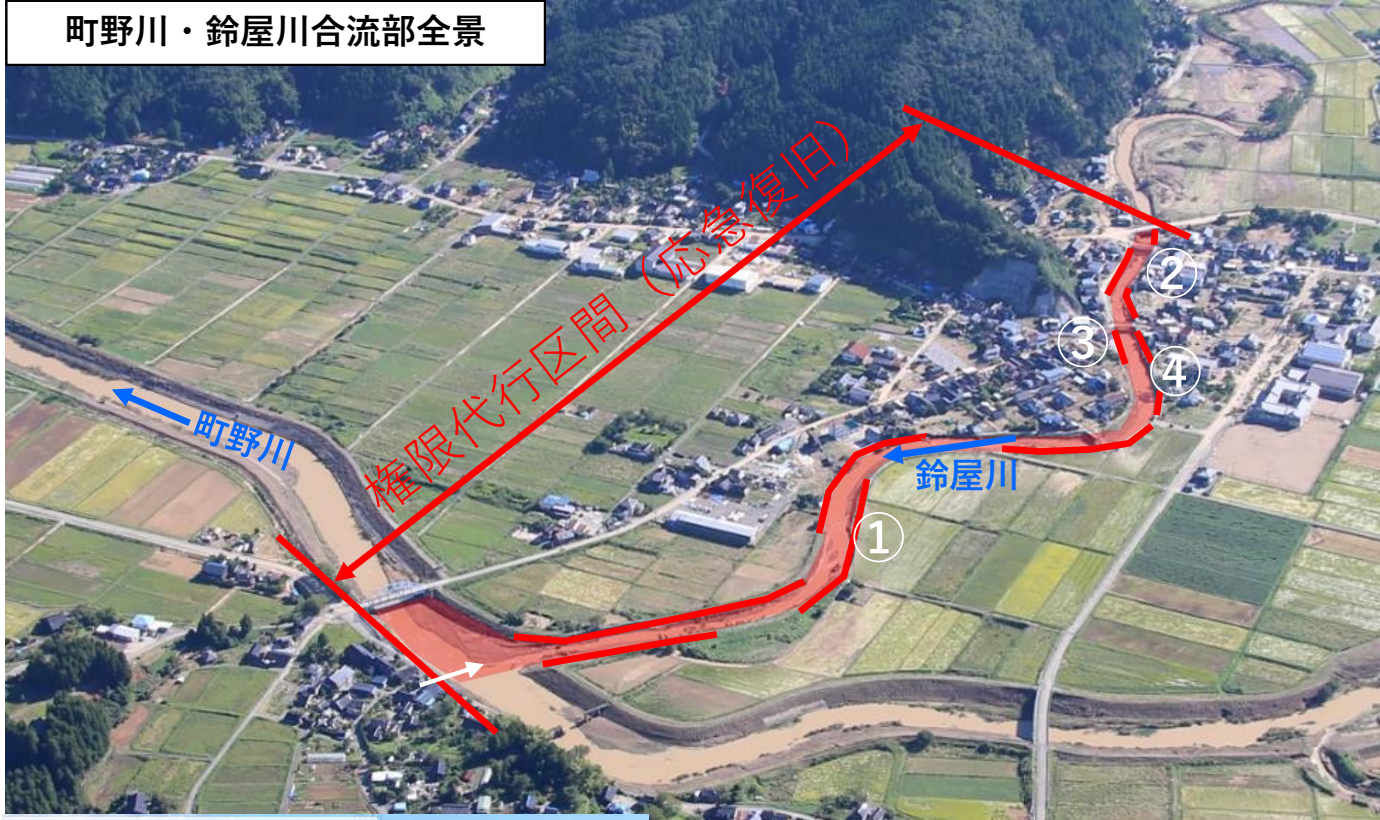


応急復旧断面図 (イメージ)



町野川～鈴屋川において、河道内に堆積した土砂の除去、大型土のう等による護岸の応急復旧を実施中。一部、水衝部には補強を実施。

町野川・鈴屋川合流部全景



2025. 3. 12 現場状況

右岸①

大型土嚢設置状況



撮影日2025. 3. 12

2025. 3. 12 現場状況

左岸②

大型土のう補強 状況
 (表面散水で固まる特殊セメント封入布)



撮影日2025. 3. 12

2025. 3. 11 現場状況

左岸③

ボトルユニット設置状況



撮影日2025. 3. 11

2025. 3. 13 現場状況

④

土砂掘削・積込状況



撮影日2025. 3. 13

土砂災害対策スケジュール <町野川水系鈴屋川>

国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所

令和6年12月27日付け
国土交通省 北陸地方整備局 記者発表資料より抜粋

町野川流域(鈴屋川)では地震及び大雨により発生した不安定な土砂に対し、流出土砂撤去等の応急対策や砂防堰堤等整備のための工事用道路設置を実施中。

引き続き、河道内に堆積している土砂が流出、土砂・洪水氾濫による被害を防止するため、砂防堰堤の整備を予定。

【恒久対策の計画施設】

砂防堰堤:5基、流木対策工:2基
溪流保全工:2箇所



砂防堰堤の整備イメージ



流木対策工の整備イメージ

整備全体計画

9/20からの大雨による氾濫実績



■牛尾川については、令和6年能登半島地震の災害復旧として既に着手しており、現在、応急対策実施中です。
■鈴屋川における土砂災害対策については、現在、検討中。**県道40号に近接することから、今後、調整をお願いします。**

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
鈴屋川	応急対策(仮設堰堤・ワイヤーネット工)	恒久対策(最下流 砂防堰堤)	恒久対策(砂防堰堤・流木対策工・溪流保全工)			
		R7出水期前までに完了				

※今後、現地状況等により工事の範囲・内容・工程が変更になる可能性があります。

【直轄災害関連(砂防)】

町野川水系鈴屋川 (牛尾川) の対応状況

応急復旧工事 (現場状況_11/11撮影)



- 牛尾川までの県道40号を利用して復旧工事を実施中。
- 県道40号に近接することから、今後、情報共有・調整をお願いします。

実施状況

令和6年11月21日時点



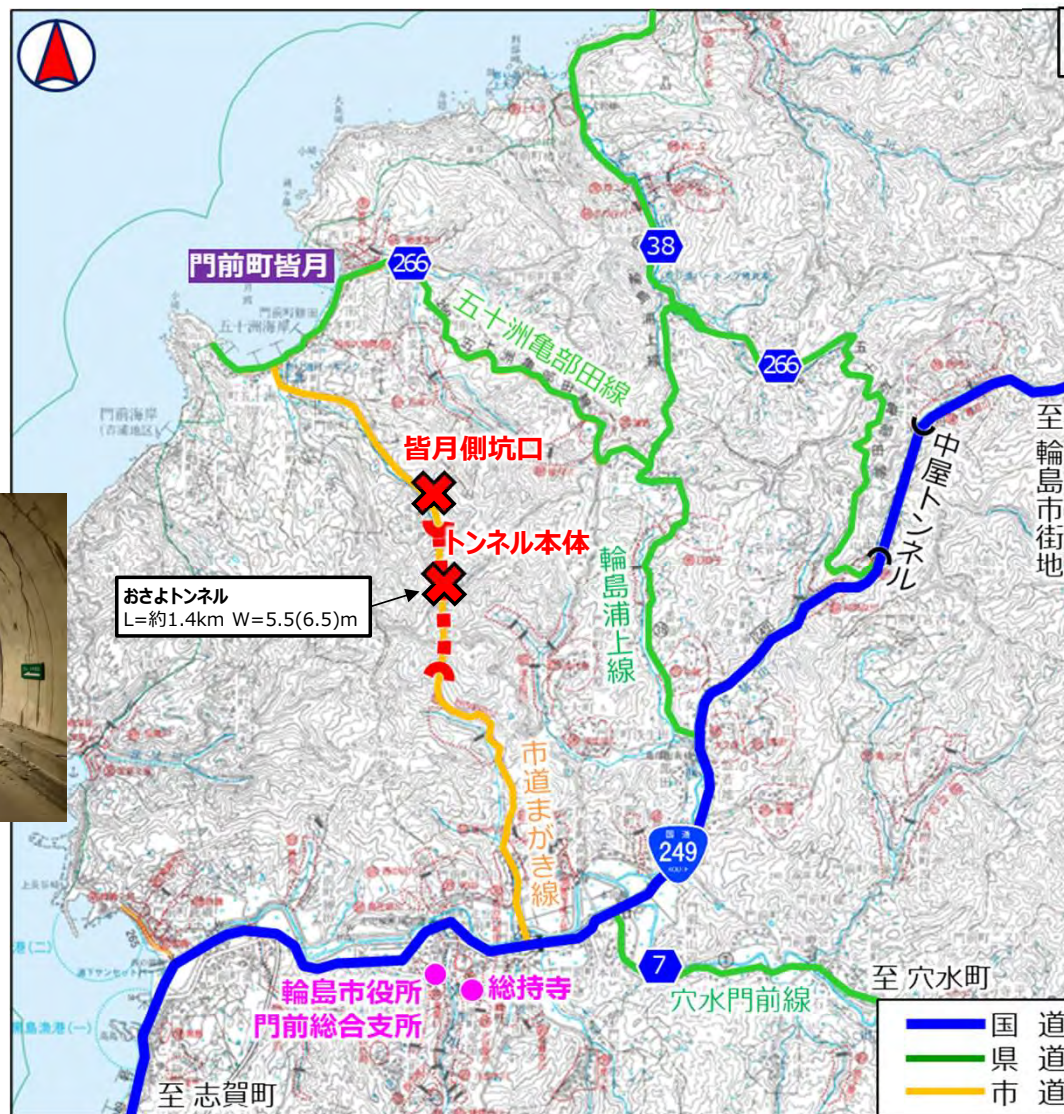
令和7年3月12日時点



市道まがき線 おさよトンネル



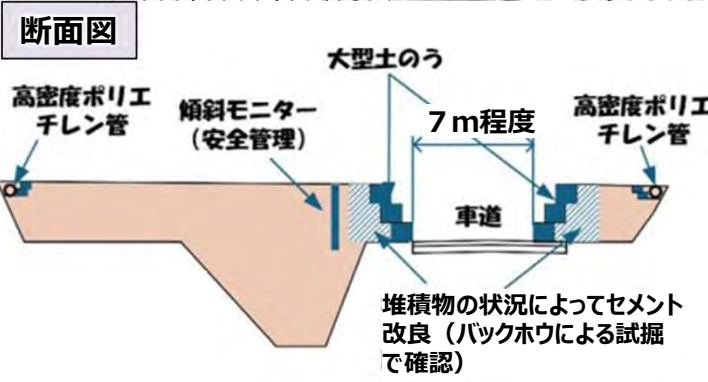
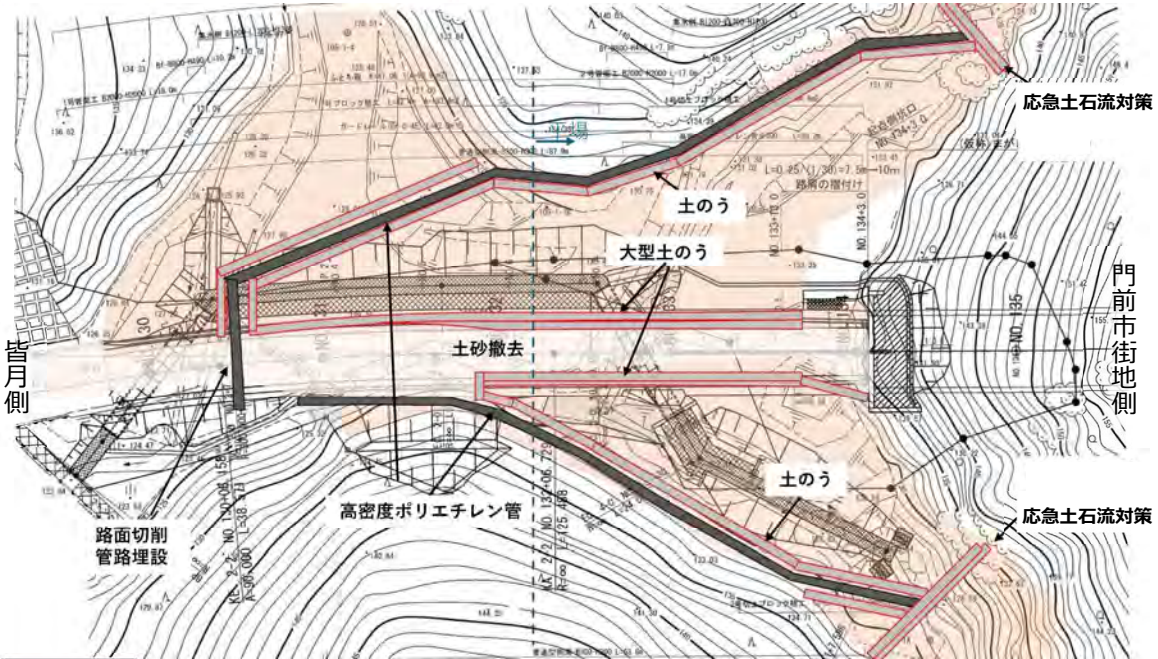
資料 4



市道まがき線 おさよトンネル(応急復旧状況と今後の予定)



皆月側坑口 応急対策 (案)



<今後の予定>

仮排水処理 (実施中)

緊急土石流対策

道路啓開 安全管理システム

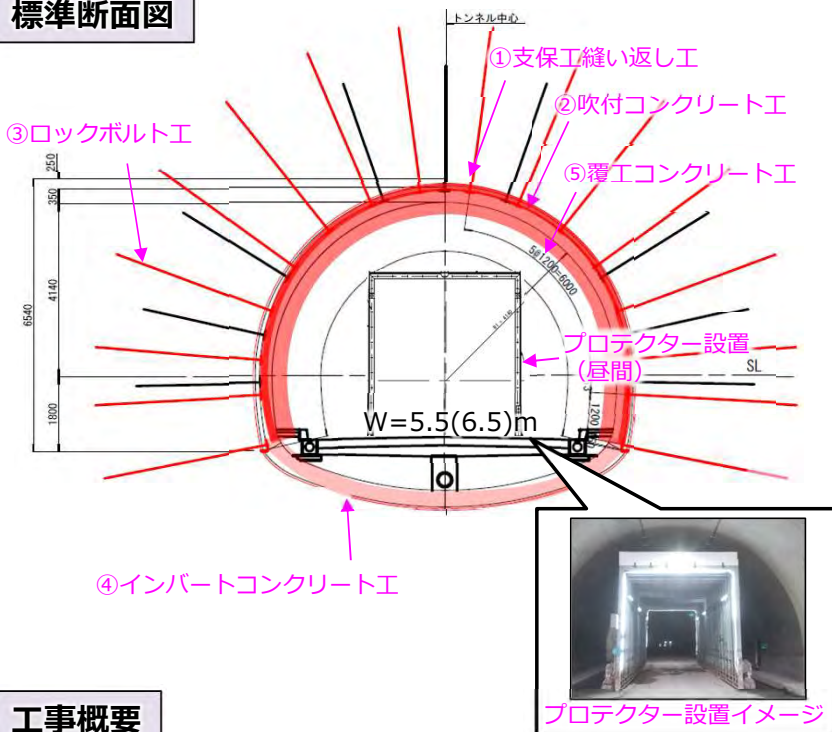
・令和7年GW前の供用再開を予定
 ※緊急車両・地元車両に限る
 ※雨量規制あり (時間雨量20mm、連続雨量110mmで通行止め)

・引き続き、大規模な土石流対策を踏まえた本復旧工法の検討を実施



市道まがき線 おさよトンネル(本復旧工事の概要)

標準断面図



工事概要

全131スパンのうち
被害が大きかった19スパン

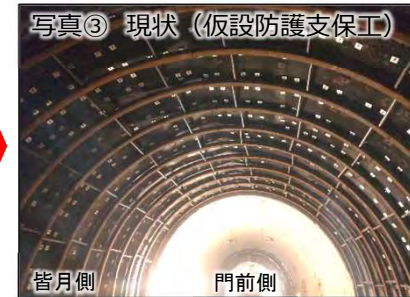
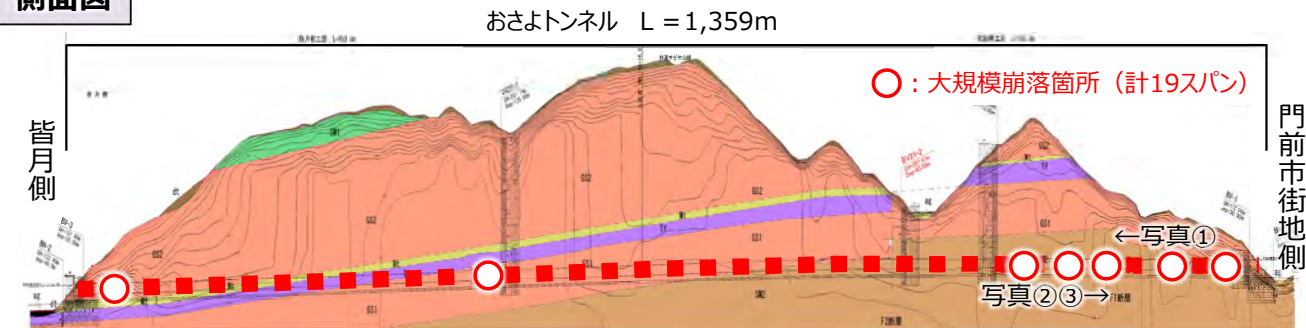
被害が軽微な33スパン

支保工縫い返し
覆工再構築
インバート再構築

ひび割れ補修

R7夏ごろ着手予定

側面図



施工イメージ



夜間通行止めにより施工

プロテクターを設置し交通開放(緊急車両・地元車両に限る)
※工程によっては日中通行止めを実施予定